

Beyond GS26 を見据えた イノベーション戦略

2024年11月7日

テルモ株式会社

社長CEO

鮫島 光



おことわり

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況等があります。また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

イノベーションへのコミットメント

イノベーションを **重要な経営戦略** と位置づけ、
組織改変 や **企業文化** を醸成し、**担当役員を新設**

イノベーションによって創られる
当社の未来

現在

新たな着想によるソリューション提供を促進

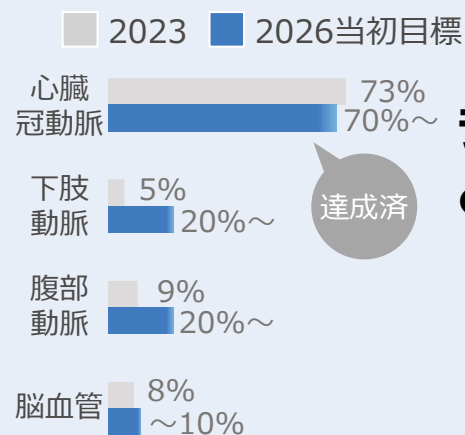
GS26における売上成長ドライバーの進捗確認

C&V

治療事業の拡大

- 脳血管／大動脈

脳卒中・大動脈治療デバイスの
新製品ローンチを通じて売上拡大

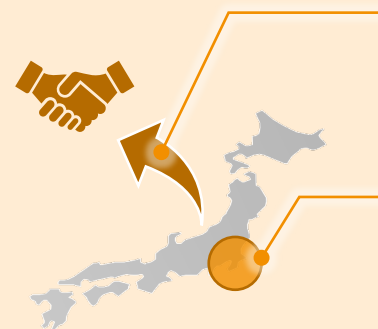


ラディアル手技の普及

- 順調な進捗

冠動脈・脳血管を中心に、
想定以上のペースで普及拡大

TMCS



CDMO（開発製造受託）

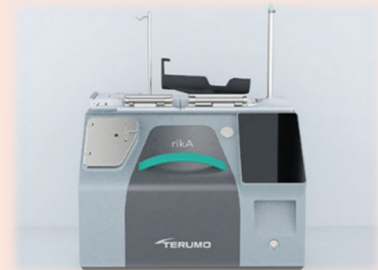
- 海外展開

海外製薬企業との
契約第一号を締結

- 生産能力拡充

FY25に甲府工場新棟が
竣工予定

TBCT



米国Rika（原料血漿採取システム）

- 計画通り展開

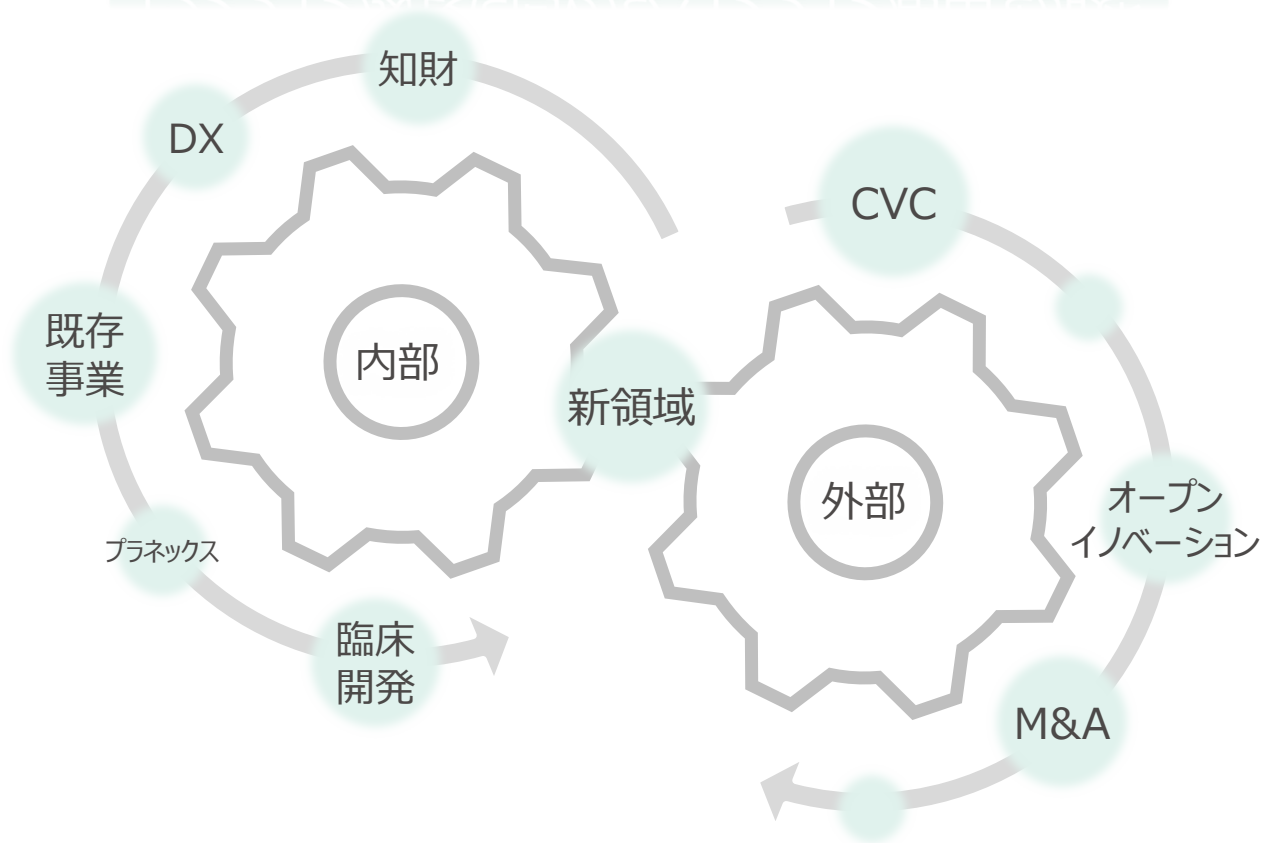
FY25のロールアウト完了に
向けて順調に推移

テルモのイノベーション



イノベーションと経営戦略の連動

トップライン成長に向けたパイプライン創出を加速



イノベーションによるパイプラインの更なる拡充

Beyond GS26

GS26

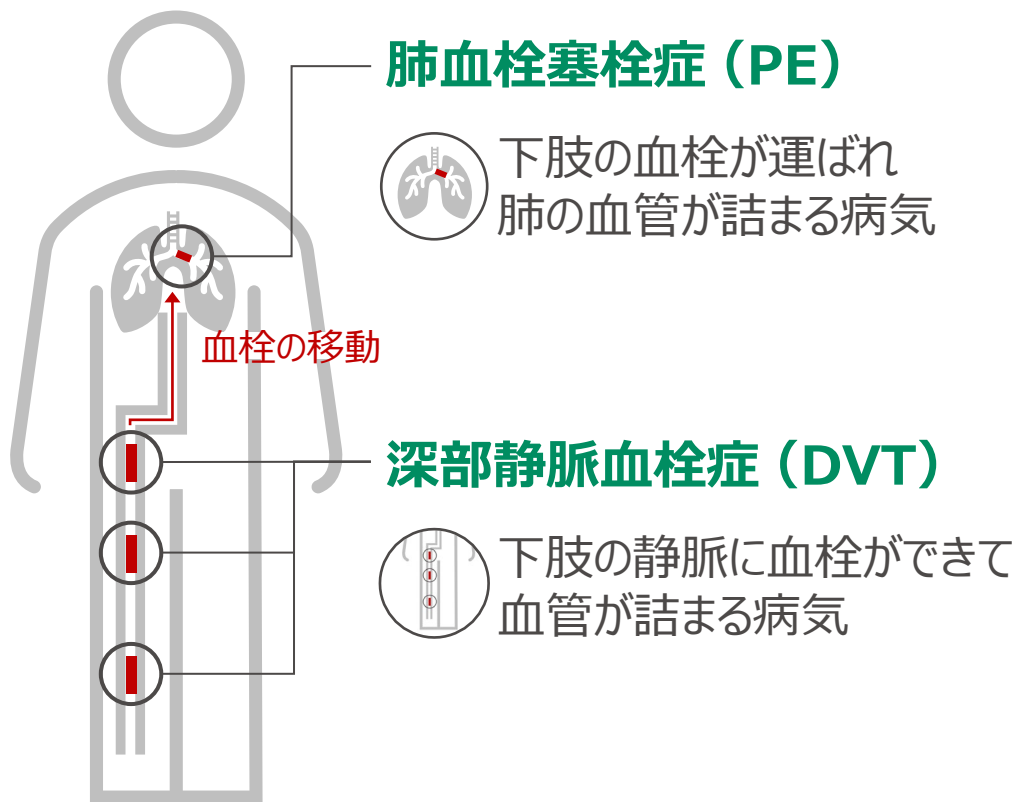


CVC、オープンイノベーション、M&A等による新技術や新領域

静脈血栓塞栓症（VTE）と市場概況

静脈血栓塞栓症（VTE）： PE + DVT

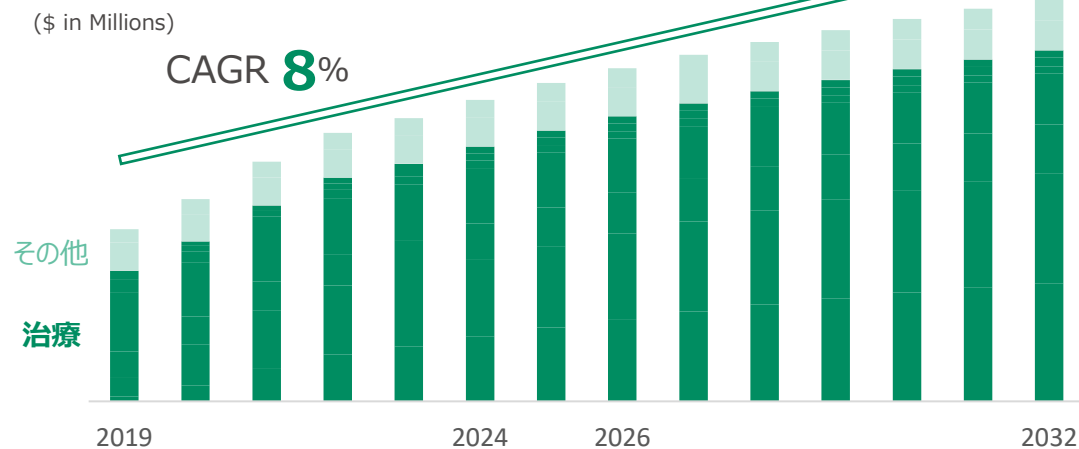
- 静脈血栓塞栓症は、生命にかかわる重大な疾患



VTE市場規模と成長性

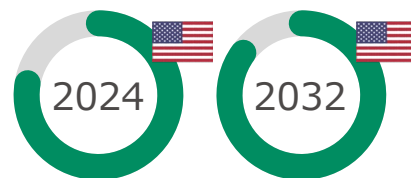
- 患者数は年間 **10%増加**、循環器疾患の**死因第3位**

VTEインターベンション市場



Source: Clarivate

VTE市場（地域別）



Source: Clarivate

循環器疾患関連の死因（米国）

- 第1位 心筋梗塞
- 第2位 脳梗塞
- 第3位 肺血栓塞栓症（PE）**

Source: Pulmonary Embolism in 2017

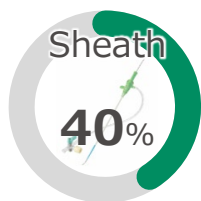
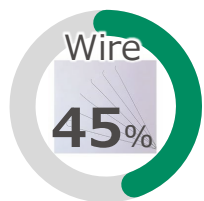
静脈ビジネス戦略

VTE治療プロセス全体のソリューションを提案

Access

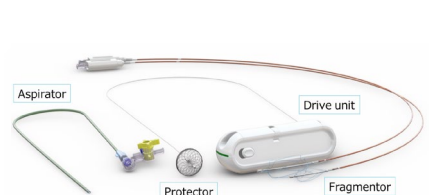
アクセス領域で既存の
高い市場プレゼンス

 シェア No.1



Therapeutic

VTEインターベンションの最大市場である
血栓除去デバイスと静脈ステントへの参入



Nesaku



MAYUMI

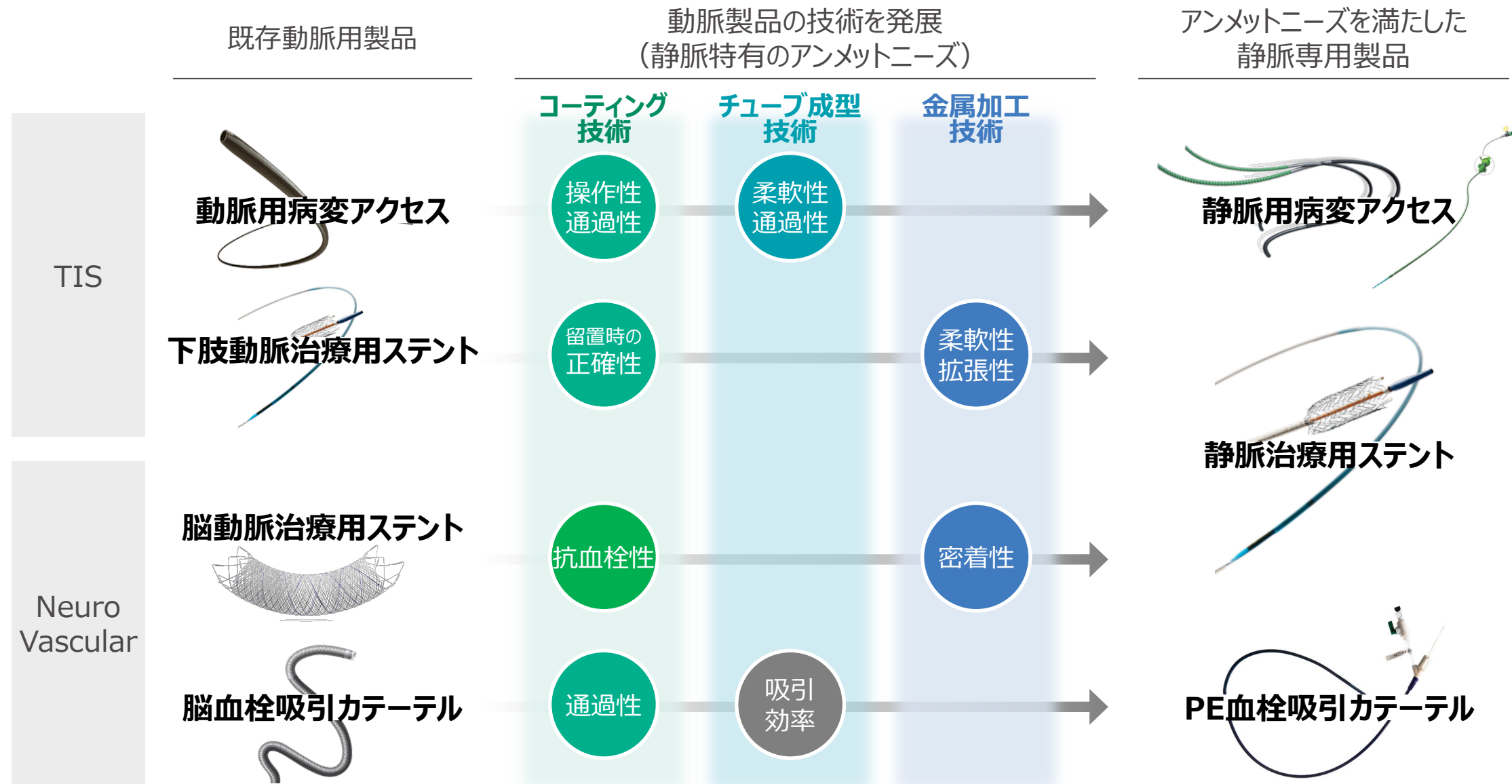
Closure

静脈止血デバイス
への参入

- 大口径に対応
- 止血時間の短縮
- 止血プロセスの簡便化

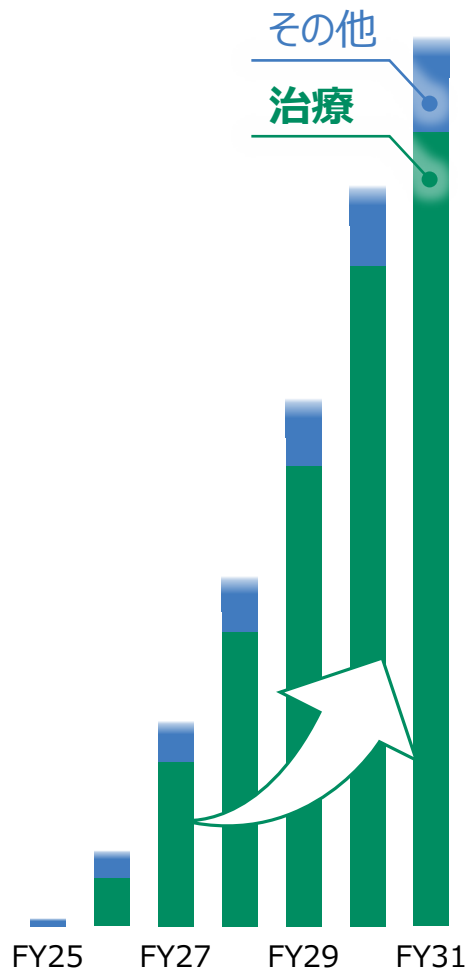
動脈で培った高度な技術力を活用し 静脈専用デバイスを開発、静脈のアンメットニーズを充足

静脈R&D

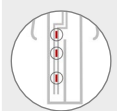


静脈パイプラインと想定売上

想定売上

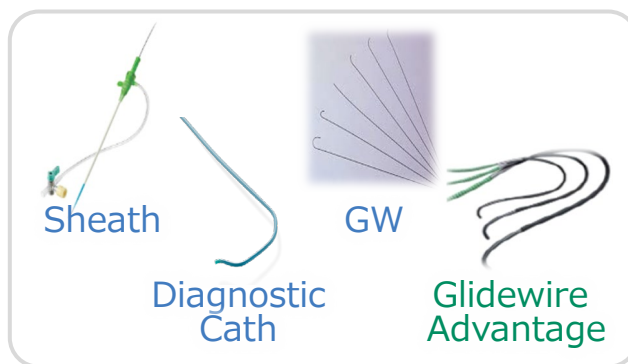


PE
(肺)

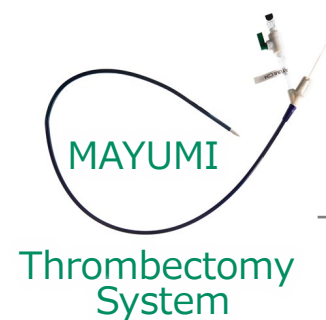


DVT
(下肢)

販売中



短期

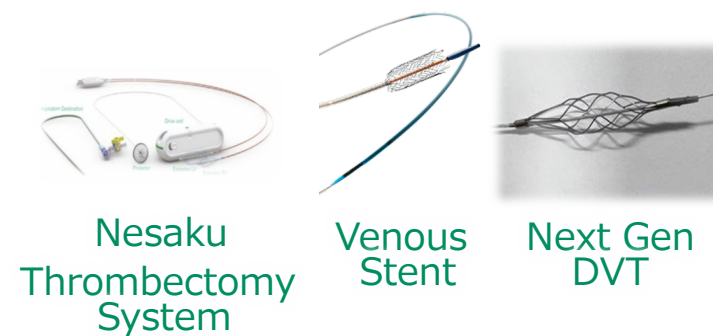


中長期



Next Gen 2,3

Closure Device



コーポレートベンチャーキャピタル（CVC）

2024/8発足

“Terumo Ventures”

VCファンド等を通じた
ベンチャー投資

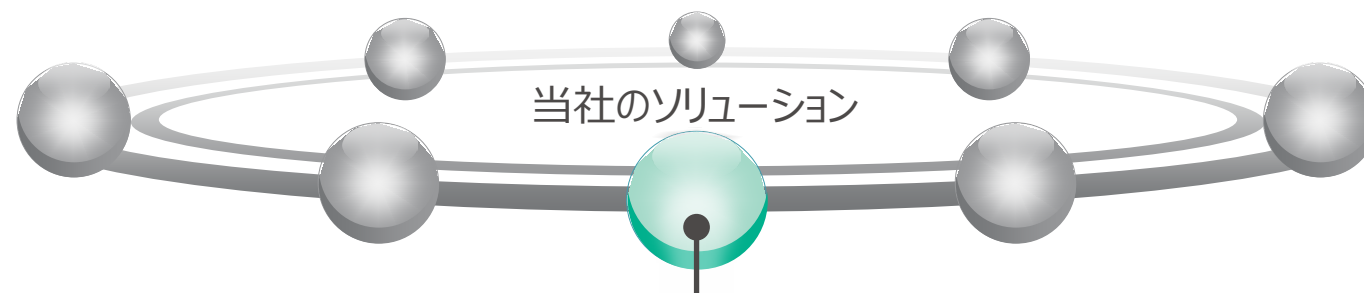


オーナーシップ^oを持ち
機動的なベンチャー投資

ベンチャー投資を通じたイノベーション活性化

～ 新技術の獲得やM&Aパイプライン構築のスピードを加速 ～

デジタル技術の活用



“低侵襲な血管内治療”のさらにその先を見据えて

デジタル/AI技術
を活用した**診断**

目視による読影から
リスクの客観的な定量化へ



急性期における
低侵襲な
血管内治療



イノベーションで、まだ見ぬ医療のその先へ

